
My a Tail Online

銀臥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

My a Tail Online

【Nコード】

N6188Z

【作者名】

銀臥

【あらすじ】

次世代VRMMO、『マイアテイル・オンライン』。

プレイヤーは液晶に映るゲーム画面で、コントローラーを持ってプレイするのではなく、ゲームの中に精神を移送し、ゲームの中に入って直接プレイすることができる。

そう大々的に宣伝したゲーム会社『ゼウス』は、日本、中国、アメリカ、イギリス、フランスの五ヶ国から、それぞれ一万人のベータテスターを選出し、してそのゲームをいち早くプレイしてもらうと宣伝する。

悪友達とノリで応募した中学二年生の主人公、四季町しきまち空人そらとは、偶然そのベータテストの枠に入る事が出来、夏休みの予定も特に決めていなかったで、そのゲームをプレイすることに決めた。だがベータテスト初日、彼らの世界は唐突に変わる。クリアするまで脱出は不可能。ゲームオーバーは死に繋がるというデスゲームと化した空人は、その過酷な現実を受け入れ、脱出のために異世界を剣士、『クー』として生きていく。

序章

『世界』というものは、それ単体では姿を変えることはない。変化するという事象には、それを変化させる何かしらの存在がある。

例えば、一億六千五百万年と長く続いた恐竜時代が滅びを迎えた原因だ。

恐竜達はそれまで当たり前のように暮らしていたが、それを唐突に終わらせたのは空から飛来した小惑星だ。

直径十キロメートル、重さ一兆トンもある隕石が地上に落下し、落下した時に放たれた核兵器数千個分の威力もある衝撃によって、大量の塵が舞い上げられ、空を覆いつくし、地球は氷河期を迎える事によって恐竜達は死に絶えた。

たった一つの隕石によって、地球という世界は氷の星へと変化した。

だがそれは、けして『世界』が自ら姿を変えたのではない。

一つの隕石によって、姿を変えさせられたのだ。

やがて氷河期が終わり、哺乳類が現れ、人類の起源が大地に二足で立ち上がり、知識を持って文明を作り上げていったのも、全て人類が行ったことであって、けして『世界』がそれに合わせて姿を変えたわけではない。

また自然にできた造形物も、大気や地形、太陽からの熱、重力、様々な力があるからこそ、姿を変える事ができただけであって、けして『世界』がそれを造形しようと思って造り上げたものではない。では『世界』というものを変えることが出切るものはなんなのか？私はここで思考と答えてみる。

思考というものは、すなわち人の考えだ。一人の考えによって、世界というものは姿を変える。

即ち、思考の数だけ様々な姿を持つ世界があるということだ。

私には思考がある。

それは私の中にも一つの世界があるということだ。

私が考えを変えない限り私の世界は決して変わることはない。

もしもここに新たな世界が誕生したとする。

その世界で、君達の中の世界は変わるのだろうか。

私は知りたい。

そのために、私は世界を作ろう。

どうか見せてくれ。

私が作り出した世界で君達は何を思い、何を感じ、何をして生き

ていくのか、どうか見せて欲しい。君達だけのMy a Ta

il（自分だけの物語）を。

それがこの世界を生み出した私のたった一つの願いでもある。

二〇五二年・一人の科学者の言葉

序章（後書き）

感想、コメント待っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6188z/>

My a Tail Online

2011年12月20日19時51分発行